

シンガポールにおける上場

投資銀行グループ
コーポレートファイナンス
ヘッド
Ang Suat Ching

[2012年5月]



Ask OCBC
www.ocbc.com



目次

1. シンガポール市場概論
2. シンガポールにおける上場の考察
3. シンガポールでの上場プロセス
4. 重要な成功要因
5. ケーススタディー

シンガポール市場概論



- ❖ シンガポール取引所（SGX）、アジアへの玄関口
 - アジア第2位の規模の上場取引所
 - 日本を除くアジアで最大のリート（REIT）市場
 - 世界でもっとも取引が活発な、4つの外国為替取引市場の1つ
 - アジア第2位の規模の店頭（OTC）デリバティブ取引市場

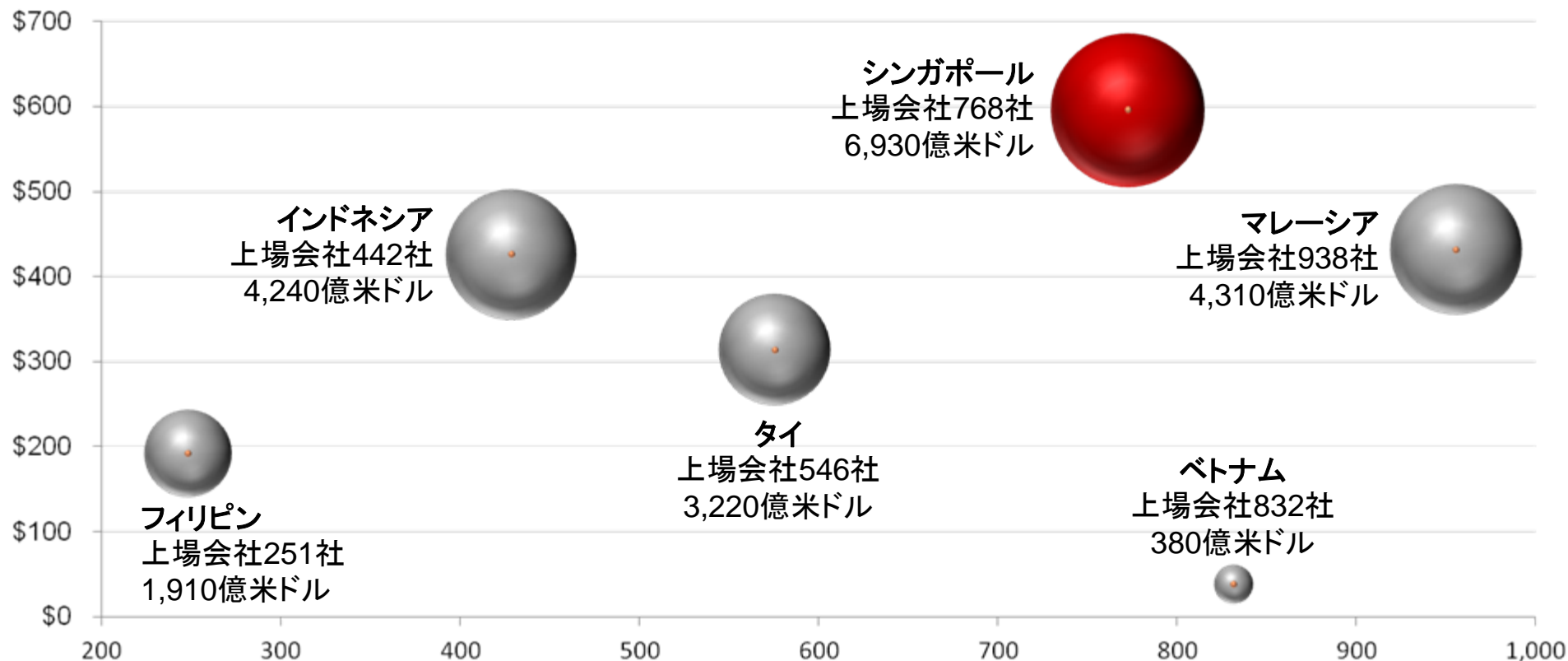
注:

1. 出典:シンガポール通貨監督庁、シンガポール取引所、国際取引所連合
2. 2012年3月31日現在

シンガポール取引所 - 成長のためのアジアにおける上場の基盤

❖ 東南アジア最大の取引所

..... 合計時価総額6,930億米ドル



注:

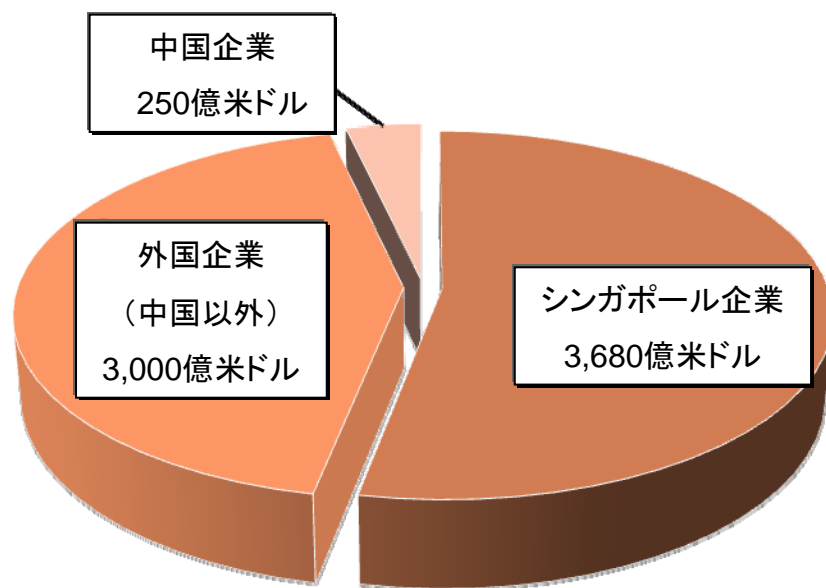
1. 出典: ブルームバーグ、シンガポール取引所、国際取引所連合

2. 2012年3月31日現在

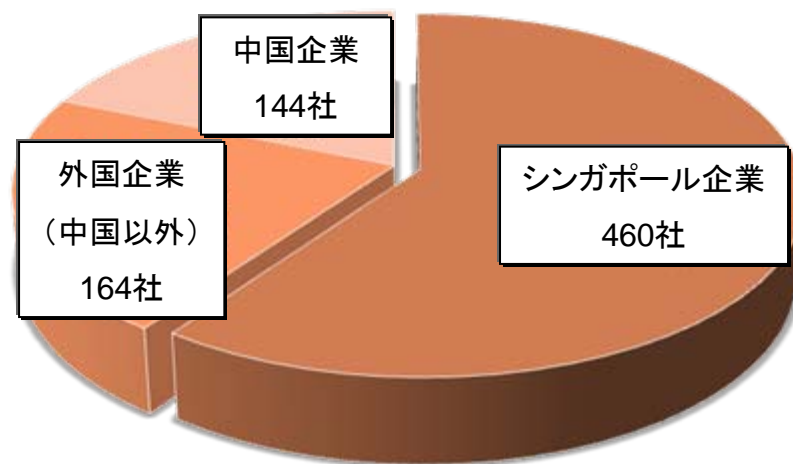
シンガポール取引所上場企業の概略

❖ 国際的取引所

.....全上場株式の40%以上が外国企業



合計時価総額6,930億米ドル



上場企業768社

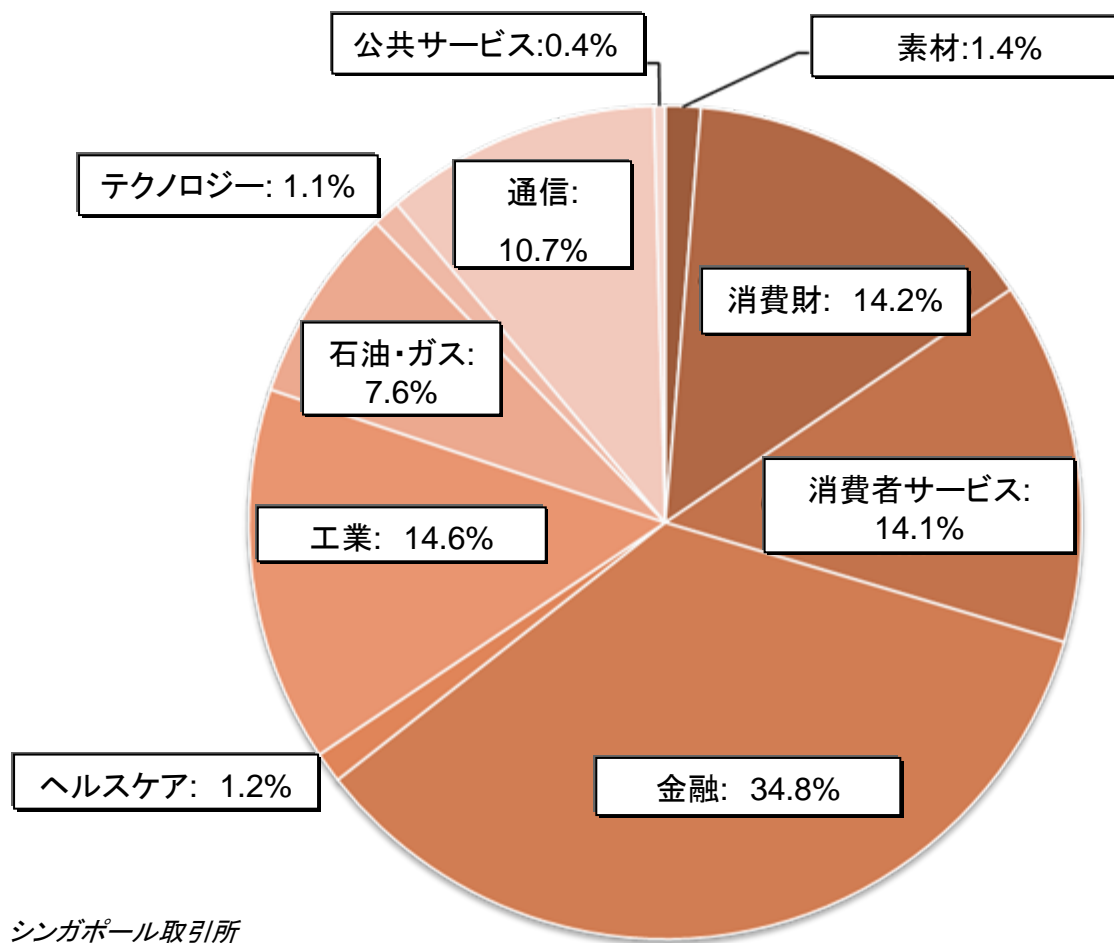
注:

1. 出典: ブルームバーグ、シンガポール取引所、国際取引所連合
2. 2012年3月31日現在

シンガポール取引所上場企業の概略

❖ 確立した市場

..... 幅広い業種を網羅



注:

1. 出典: ブルームバーグ、シンガポール取引所
2. 2012年3月31日現在

目次

1. シンガポール市場概論

2. シンガポールにおける上場の考察

3. シンガポールでの上場プロセス

4. 重要な成功要因

5. ケーススタディー

シンガポールにおける上場の際の考慮



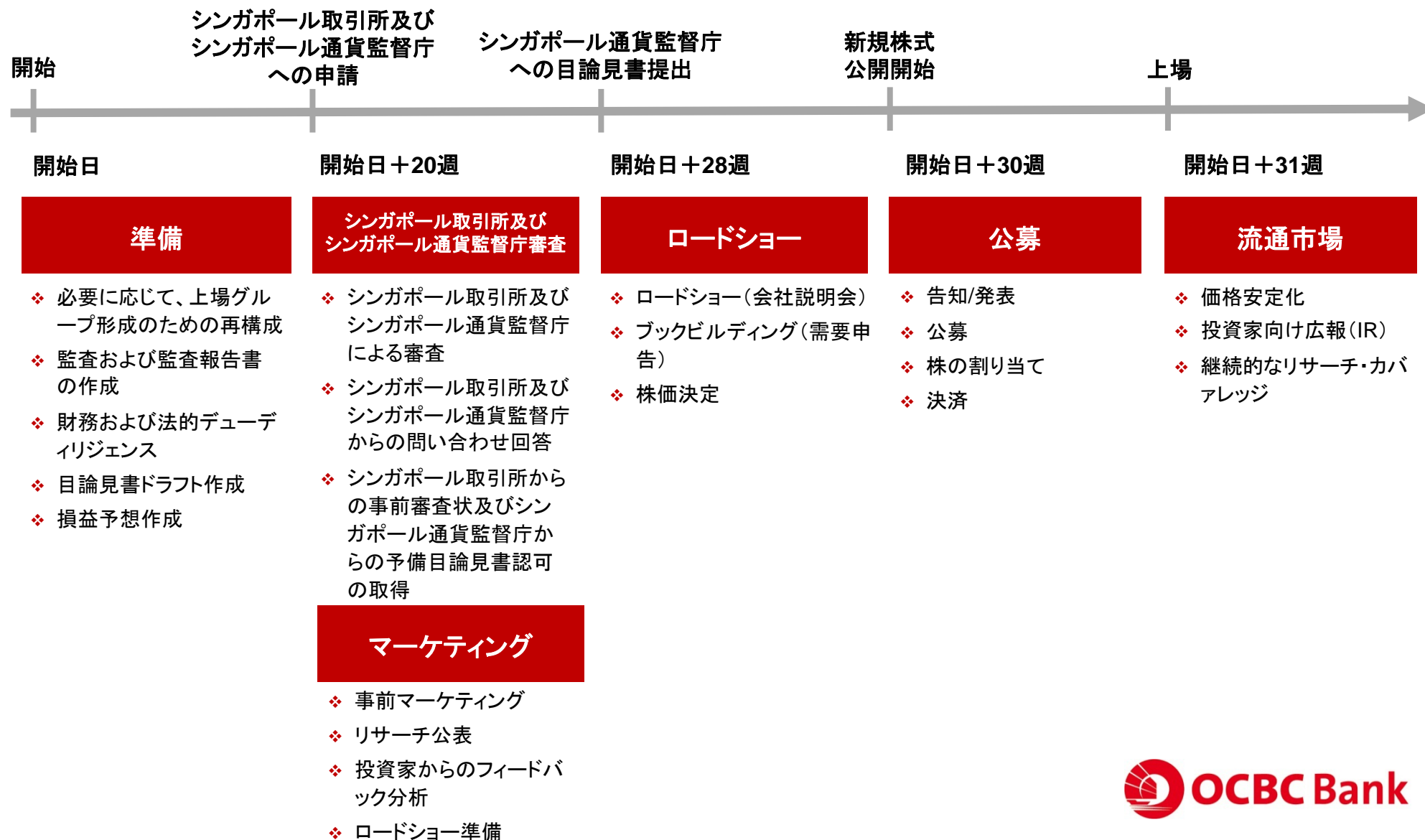
シンガポールにおける上場の際の考慮



目次

1. シンガポール市場概論
2. シンガポールにおける上場の考察
3. シンガポールでの上場プロセス
4. 重要な成功要因
5. ケーススタディー

シンガポールでの上場プロセス



目次

1. シンガポール市場概論
2. シンガポールにおける上場の考察
3. シンガポールでの上場プロセス
4. 重要な成功要因
5. ケーススタディー

重要な成功要因

魅力的なエクイティ・ストーリー

- ❖ 会社の位置づけ
- ❖ 確かな成長性
- ❖ 説得力ある、実行可能な事業戦略

価格設定

- ❖ 市場志向型評価
- ❖ 取引のメリット

時期と計画

- ❖ 最適な市場動向
- ❖ 効果的なプロジェクト管理
- ❖ 綿密な計画

重要な成功要因

経験豊富な 経営者

- ❖ 長年の業界経験
- ❖ 適格な経営陣

透明性

- ❖ 投資家への可視化
- ❖ 明白なコミュニケーション戦略
- ❖ 強固なコーポレートガバナンス方針

目次

1. シンガポール市場概論
2. シンガポールにおける上場の考察
3. シンガポールでの上場プロセス
4. 重要な成功要因
5. ケーススタディー

ケーススタディー1 – Sheng Siongの新規株式公開



重要事項

発行者	Sheng Siong Group Ltd
公開株式構成	351,500,000 募集株 (150,000 売 出株を含む)
超過割当オプション	52,725,000株まで
公開株式総額	130,000,000シンガポールドル(超 過割当を含む)
公開価格	1株あたり0.33シンガポールドル
新規株式公開時価総額	442,700,000シンガポールドル
上場日	2011年8月17日
発行責任者、引受及び斡旋会社	OCBC銀行(華僑銀行)

背景

- ❖ シンガポール全土で23店舗を展開する、シンガポール最大の食料品小売業チェーンの1つ
- ❖ 事業拡大と借入金返済の資金調達のため、新規株式を公開



主な観点 – Sheng Siongの新規株式公開

課題

- ❖ 厳しい市場動向
- ❖ 新規株式公開日当日の2011年8月5日に、スタンダード・アンド・プアーズ社が米国の格付けを引き下げ
- ❖ 株式市場での世界規模の大量な株売却
- ❖ Sheng Siongの株式発行数が少ないため、大規模優良機関投資家への売却が困難

OCBC銀行の戦略

- ❖ 確かな成長性と堅調な業界予測により、Sheng Siongを防衛的な立場に位置づける
- ❖ 魅力的な評価額と、純利益の最高90パーセントを2011年及び2012年の配当金として支払う旨の確約

成果



2011
"BEST SMALL-CAP EQUITY DEAL"

- ❖ 新規株式公開時に1.3倍の株式申込
- ❖ 一般投資家からの強い関心と優良機関投資家による支援
- ❖ 流通市場での動向と流動性の均衡を図るため、機関投資家と一般投資家への均等な配分
- ❖ 新規株式公開時から、最初の2週間で株価が70パーセント上昇

ケーススタディー2 – Global Premium Hotelsの新規株式公開

GLOBAL
PREMIUM HOTELS LIMITED



重要事項

発行者	Global Premium Hotels Ltd
公開株式構成	450,000,000新規発行株 (13,000,000公募株を含む)
超過割当オプション	67,500,000株まで
公開株式総額	117,000,000シンガポールドル (超過割当を除く)
公開価格	1株あたり0.26シンガポールドル
新規株式公開時価総額	260,000,000シンガポールドル
上場日	2012年4月26日
発行責任者、引受及び斡旋会社	OCBC銀行(華僑銀行)

背景

- ❖ フレグランスグループからの分離独立事業
- ❖ 23のホテル、1,738の客室を有する、シンガポール第2位の経済的・中級ホテルチェーン
- ❖ シンガポール国内および国外でのホテル事業拡大を目指し、新規株式を公開



主な観点 – Global Premium Hotelsの新規株式公開

課題

- ❖ 当初上場グループ案の不適切な構成
- ❖ 主要株主による当初株式所有に対するコミットメント欠如
- ❖ 魅力的でない配当政策案
- ❖ ユーロ圏の債務危機による不安定

OCBC銀行の戦略

- ❖ 事業運営によりふさわしい上場グループ案の再構成
- ❖ 確信を持たせ且つ投資家を惹きつけるため、主要株主に株式を大量に保有するよう働きかける
- ❖ 魅力的な評価額と、純利益の最高80パーセントを2012年の配当金として支払う旨の確約

成果

- ❖ 総株式応募率5.7倍（新株3.3倍、公募株86倍の応募）
- ❖ 需要過多のため、超過割当オプションすべて発行
- ❖ 14名の優良且つ大型の投資家（アンカー投資家）による応募、そのうち6名の機関投資家が選出
- ❖ 流通市場での動向と流通性の均衡を図るため、機関投資家と一般投資家への均等な配分
- ❖ 取引初日に、新規株式公開時より[〇〇]パーセント株価上昇

ありがとうございました。



Ask OCBC
www.ocbc.com

